

# 東 東っ子

<教育目標>  
たくましさ ゆたかさ  
かしこさ

<今年度の重点目標>  
想像できる子の育成

令和3年6月1日 第2号

富良野市立東小学校

TEL 22-4895

FAX 22-4997

## ICT の活用に向けて

校長 山崎 省三

今日も学校の玄関には、子ども達の元気よく挨拶する声が響き渡っています。休み時間には、我先にと外へ出て思いっきり遊ぶ姿も見られるようになりました。中には、半袖になって走り回る子どももいます。気温が高くない中での登下校は少し心配になりますが、子ども達はそんなことに負けないくらいの様子です。

運動会の練習も少しずつ始まった頃に、北海道は新型コロナウイルス感染症のため緊急事態宣言下となりました。学校では運動会や修学旅行などの行事を延期しました。今後のことも心配ではありますが、子ども達の1年間の学びをしっかりと保障できるように工夫していきます。

さて、先日、校内研修の授業を行いました。モニターに映し出される動画による導入、ストップウォッチ機能を使った「秒」の体感…、子ども達一人1台のタブレットを使って、また、子ども達同士協力しながらの学びが1時間の授業で展開されていました。

学校では一人1台の端末（タブレット）が整備され、ICTを活用した学習が本格的に始まります。そして、授業は以下のように変わっていきます。

### <一斉学習～全員が一斉の学習>

教師は授業中でも一人一人の反応を把握できます。つまり、子ども達一人一人の反応を踏まえた双方向型の授業ができるようになります。

### <個別学習～一人一人の理解度に応じた学習>

同時に、そして子ども達一人一人は別々の学習ができます。一人一人のニーズや学習状況に応じた学習ができるようになります。



### <協働学習～みんなの考えをまとめる 学習>

子ども達一人一人が記事や動画などのデータを集め、独自の視点で情報を収集したり、それぞれの考えを即時に共有して協働でまとめられます。全員の情報編集をしながら、多様な意見に即時に触れられるようになります。

コロナ禍においてICTを活用した学びをさらに導入・活用することが求められています。どんどん使いこなせていけるようになるための研修は教師の学びの時間です。タブレットは、授業準備の効率化や子どもの興味・関心の支えなど、学びの質の向上を図ることができる新たな学習道具です。子どもも教師もしっかりと道具を使いこなせるよう、そして、学びがよりよいものとなるよう研修を進めていきます。子どもがタブレットを持ち帰って来たときは、しっかりとルールを守って使ってほしいと思います。ご家庭でも一緒にご確認ください。